

## 第 71 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 30 年 6 月 25 日(月) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
2. 開催場所 COM 倶楽部会議室 (箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階)
3. 委員の出席 委員総数 6 名
- 出席委員 6 名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、桑田政美  
高谷和彦、神垣美代香、中川弘佳
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)  
大平麻由美 (編成課長)  
小川 亮 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 「飛び出せラジオ! タッキーたんけん隊」  
2) 審議  
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

## 6. 審議内容

### 1) 番組

#### (1) 事務局より番組説明

「タッキーたんけん隊」は、パーソナリティやスタッフからなる“たんけん隊”がスタジオを飛び出して、月に1回、午前中の生放送内に中継で市内を巡る企画です。2018年からは、新たに「ラジオ防災教室」と題して、市内の幼稚園や保育所、子育てサークルの活動場所などに伺って、オリジナルの防災紙芝居やワークショップを通じて、子どもたちと一緒に、地震発生時の行動などを学んでいます。

オリジナル紙芝居やワークショップでは、地震時に身の安全を確保するために頭を守るダンゴムシのポーズについて伝えたり、床にガラスが散らばったときは、素足は危険なので新聞紙で簡単にスリッパが作れるなどといった避難所でも使える情報や、箕面市からの緊急情報を知るためにはラジオが大切だということなどを伝え、子どもたちが、お家に帰って保護者のかたとお話ししてくれることを願っています。

また、今回は「大阪大学災害ボランティアサークルすずらん」のみなさんにも協力してもらい、子どもたちに近い年齢の大学生が防災クイズの出題者として参加する予定です。

「ラジオ防災教室」を通じて、さまざまな団体とコラボレーションし、市内の全幼稚園・保育所を巡っていきたいと考えています。

#### (2) 審議

委員長：事務局から番組説明がありました。それではさっそく番組審議をお願いします。

委員A：地震発生後、もう一回聞きました。やはり、地震で被害を受けたかたはこういう内容は大切だと感じると思います。いい企画です。地震発生前に聞いたときは、子ども向けの地震に関するワークショップを主催する側の目

線で聞きました。色々な団体と連携しているということですので、そのあたりはすごく良かったです。レポーターとお子さんとのやり取りは、とても分かりやすく、落ち着いて子どもたちに語りかけていたので、安心して聞くことができました。楽しそうにダンゴムシのポーズをしている子どもたちが想像できましたし、必要なことを丁寧に伝えられているなと思いました。今回はスリッパの作り方でしたが、いろいろな災害時のミニ情報を入れてもらえればと思います。リスナーにはシニア層のかたも多いので。独居のかたも箕面には多いので、安否確認の方法や自分の身の守り方なども放送でお知らせした方がいかなと思いました。番組自体は想像しやすくよかったですし、次も聞いてみたいとなりました。

委員 B：私も地震後にこの放送を聞いたので、すごく聞き入りました。頭を守ることの大切さは、やはり子どもには伝えた方がいいです。あまり恐怖心を煽らないのも大切です。今回の地震で食事がとれなくなったお子さんもいるみたいです。こういう番組は続けてお知らせすることが大切です。年数が経つうちに記憶は薄れますから。お向かいのかたが一人暮らしされていますが、やはり一人暮らしは不安でしょうし、タッキーを聞くと身近な住所も言っていましたから、そういう身近なことを聞くだけでも少し安心しますね。テレビでは全国区でそこまで詳細な情報は出ませんから。地域の放送局の必要性は、これから大事だと痛烈に感じました。一人暮らしのかたにラジオを提供することも考えていただけたらと感じました。ただ、北小学校周辺で避難指示が出たときのことですが「防災マップの茶色い区域」という表現があったのですが、茶色いエリアが分からなかったのがタッキーをすぐに聞きましたが、タッキーでも詳しい住所は言っていなかった。細かい住所もタッキーで聞けると安心できます。また、同じ情報ばかりを繰り返して前に中々進まないのがこちらにも伝わってきました。今回を教訓にさまざまなことを考え、組み込んでもらいたいです。

委員 C：リポーターの声がエコーがかかっているようだったことと、もう少しスタジオと中継先のやり取りがあった方がいいと感じました。中継先だけで進行して行って、最後に絡むだけよりも、間でやり取りがある方が。スリッパの作り方についてですが、「お問い合わせください」と言いましたが、せっかくホームページ矢フェイスブックページがあるので掲載した方がい

いですね。今回の地震は、私はラジオよりも、ツイッターで見っていました。タッキーのツイッターもリアルタイムですぐに情報が出ていたので注意して見っていました。ただ、そのことが、タッキーの情報紙には載っていない。ツイッターのアカウントなど掲載した方がいいです。最近では、主婦層のやり取りはインスタグラムを多用するので、インスタのアカウントを作るのもいいかなと。みなさん SNS の情報交換もすごいので。リアルタイムで上がってくるタッキーの情報をリツイートや、いいね！して、私の周りの箕面に住んでいる人に見てもらうイメージでしたので、そこをやっぱり注意して色んな方に見てもらえるようにした方がいいのかなと思いました。

委員長：C 委員さんが仰っているように、情報紙に掲載できますか。

事務局：はい、します。

委員 D：やっぱり声が聞きづらい。そこはやはり注意しないとだめですね。それと、子ども達を対象に防災を広めていくという考え方。一番捕まえやすい世代です。こういう防災教室の企画は苦勞することがありますが、こども対象にやる場合は、何度も何度も反復して伝えることが必要です。そういう事もありますので、大変いい取り組みだと思いました。放送内容としては、もっと必要な情報が盛り込めた方がいいです。

委員 E：番組そのものは、外に出て子どもたちに会いに行くということはコミュニティ FM の一つの役割というか、有意義な活動だと思いますが、いくつか気になることもあります。まずは技術的なこと。音質については改善していただきたい。こもったような感じでエコーみたいで、聞いていてもそっちに気をとられてしまいます。もう一つは、ラジオだから当然ですが、絵が見えないので、例えば聞いているだけだと 5 歳児のこどもたちが何人いるのか分からない。放送の中で出てこない。具体的な数値とか量とかを出してもらうことも重要。そうしないとイメージも膨らまない。スリッパの作り方も、スリッパ作りの工程をイラストにしてみるとか、動画で作り方をあげてみるとか。そういう連動させるとより良い。やっぱり、ものすごく気になったわけです。後は、紙芝居がどんなのかも分からない。先々では台本とセットで貸出とかね。

事務局：オリジナル紙芝居については、毎回、タッキーたんけん隊で試行錯誤しながら作り上げている状況。完成させられるようにします。スリッパの作り方についても発信していけるように考えます。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 30 年 6 月 25 日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会